

No.223

令和4年12月定例会

にいざ市議会だより



富士山と市場坂橋の眺め（市営墓園より）

目次

- P2** 新座市議会議員「新年の抱負」
- P3** 新座市のこんなことが決まりました
12月定例会議案審議
全員協議会から
朝霞地区4市共用火葬場設置の検討について など
第5次新座市総合計画特別委員会から
市長に要望書を提出しました
委員会レポート
- P4~7** 新座市のこんなことを聞きました
一般質問ダイジェスト
- P8** 議案等の審議結果
陳情
地方の声を国へ
関係機関に意見書を送付しました

Pick up

新座市一般会計補正予算（第9号）を可決

児童発達支援センター受変電設備改修工事に係る費用を始め、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の増額、野火止フォレストパーク出入口の公園用地の取得に係る経費等を計上するもので、歳入歳出予算に6億3,486万5,000円を追加し、総額を617億7,240万7,000円とするものとして議会に提出されました。



■児童発達支援センター（アシタエール）

議会日誌

令和4年
11月
29日 第4回定例会開会

12月

16日 議会運営委員会
第4回定例会閉会
全員協議会
22日 議会運営委員会
朝霞地区一部事務組合協議会
23日 朝霞地区一部事務組合協議会
定例会
26日 志木地区衛生組合議会定例会

1月

令和5年
11日 議会運営委員会
文教生活常任委員会
16日 文教生活常任委員会
24日 新座市議会議員研修会

2月

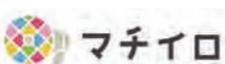
15日 議会運営委員会
20日 第1回定例会開会



©新座市イメージキャラクターゾウキリン

次回
3月定例会
お知らせ
開会日
2月20日(月)
会期日程はHPに掲載
しています。

新座市議会 検索



にいざ市議会だよりをスマートフォンへ配信します。

新年の抱負

謹んで新年のご祝辞を申し上げます



議長 公明党 白井 忠雄
長引くコロナ禍、物価高騰などの中、この一年も市民生活の支援を進め、皆様が楽しく健康で、安心して住み続けられる新座市を目指してまいります。

副議長 日本共産党 小野 大輔
にバスの新ルートが始まる。北コースの利便性を後退させない。市民アンケートに寄せられた切実な要望に一つずつ丁寧に取り組んでいきたい。

公明党 滝本 恭雪
コロナ禍で疲弊した地域経済の活性化に国の交付金を活用して様々な事業が実現。キャッシュレスポイント還元事業も一月に再実施、人も地域も元気に。

公明党 鈴木 秀一
公共交通空白地域の解消を訴え続けてまいりました。今年の4月よりいバスが新しくなり東久留米コースで空白地域の解消がまた一歩推進されます。

公明党 伊藤 智砂子
産前・産後サポート事業の更なる充実を提案。安心して出産子育てができるよう、伴走型相談支援体制の拡充と経済的支援の実施を推進してまいります。

公明党 佐藤 重忠
今まで認知症と闘う全ての皆様に必要な施策の充実を訴えてきました。今後も取り組みの背骨となる認知症条例の制定を目指して全力で働きます。

公明党 谷地田 庸子
公明党は、近年の豪雨に備えた、いっ水対策の強化を訴えてまいりました。災害に強い新座をめざし、道路冠水防止、避難所整備などを更に進めます。

公明党 野中 弥生
小・中学校校舎の長寿命化を着実にすすめるため、公明党が提言した学校施設整備基金が創設されました。今後計画的な学校施設の整備が実施されます。

由臨会 荒井 規行
根本的な財務管理体制の構築、理解を図り、市民サービスへの転換を図ります。本年も身近な議員として市民の皆様に寄り添いながら活動していきます。

由臨会 鈴木 芳宗
令和5年は多くの市の新しい計画がスタートします。市民の皆様との豊かな暮らしを作りながら、持続可能なまちづくりの推進に尽力します。

由臨会 上田 美小枝
子どもが希望をもち、えがおで明日を迎え、心豊かな活気あふれる街に。虐待・いじめから子どもを救おう！地域の声を聞き、実行するをモットーに！

由臨会 島田 久仁代
今を変える勇気と力が未来を創る。持続可能な未来への責任を果たすため行財政改革と議会力の向上に向け、覚悟をもって歩みを進めて参ります。

由臨会 米橋 結太
素敵な年になりますように祈念申し上げます。道路交通網整備、都市農業、12号線の延伸、商工業発展、公園の機能別再編、緑の保全を推進します。

日本共産党 石島 陽子
18歳までのこども医療費や給食費無料の自治体が増えていきます。物価高や社会保障費の負担増から暮らしを守る市政のために、今年も頑張ります。

日本共産党 嶋田 好枝
教員の多忙化が深刻です。未来を担う子ども達へのびのびと個性豊かに育つためには、教員にゆとりが必要です。教員の多忙化解消に向け、努力します。

日本共産党 黒田 実樹
だれもが人間らしく幸せに生きる権利、「基本的人権の尊重」は最強です。市政の隅々まで憲法の理念が行き届く、政治の実現に力を尽くします。

日本共産党 小野 由美子
コロナ対応やご相談を受け、日本共産党の一員として、走り続けた一年でした。今年も引き続き市民の声に寄り添っていきたいと思います。

日本共産党 笠原 進
共産党が実施した市民アンケートの市への要望の上位は、国保税や介護保険料の軽減、歩道や生活道路の改善、学校給食費無償化です。実現をめざします。

市民と語る会 高邑 朋矢
カッターはみんなノーマスクで盛り上がりました。日本も免疫力を高める為に、学校も市議会もノーマスク・ノーワクチンに早く戻りたいものです。

市民と語る会 富永 孝子
小さなお子さんからご年配の方まで、誰もが幸せを実感できる新座市となるよう、日々力を尽くしてまいります。今年もよろしくお祈りいたします。

政和会 助川 昇
激動の時代でも、気持ち迷わず、心と身体を整えて、着実に歩みを進める一年とします。

政和会 小野澤 健至
燃料高騰や食料品の値上げ等、生活を直撃する不安定な社会情勢ではありますが、市民の皆様が安心して暮らせるまちづくりのために尽力してまいります。

政和会 鈴木 明子
コロナ対策をしながら、地域社会が活動の再開を始めました。市民の皆さんが安全安心な暮らしができるよう、ご意見をお伺いし声を届けて参ります。

政和会 池田 貞雄
老朽化が進む小中学校の大規模改修を進め、コロナの影響で生活環境の変化を踏まえた持続可能な財政運営を進め、災害に強いまちづくりを推進します。

政和会 嶋野 加代
昨年はコロナとウクライナでの戦争に明け暮れた一年でした。今年こそ穏やかな日常を取り戻せますように、元氣いっぱい頑張ってください。

政和会 平野 茂
ワールドカップ日本代表の活躍の余韻が残る中、新しい年を迎えました。本年も明るい未来持続可能なまちづくりに尽力してまいります。

本年も皆様が御健勝で御多幸でありますよう心からお祈り申し上げます



クローズアップ

令和4年12月定例会

新座市のこんなことが決まりました

12月定例会 議案審議

将来都市像「未来もずっと暮らしに『プラス』が生まれる豊かなまち 新座」

— 第5次新座市総合計画基本構想を可決 —

第5次新座市総合計画基本構想は、令和5年度から令和14年度までの10年間の新座市のまちづくりの指針となる計画で、平成23年の地方自治法の改正により基本構想の策定義務がなくなり自治体の判断に委ねられたが、基本構想や基本計画については、市政運営の目標を明確にし、その目標を達成するための施策等を位置付ける最上位計画であることから、引き続き策定するものである。

基本構想では、「子どもがのびのびと育つまち」「安心して暮らすことができるまち」「住みやすく魅力的なまち」の三つの基本方向を示し、将来都市像として「未来もずっと暮らしに『プラス』が生まれる豊かなまち 新座」を目指すものである。

質疑では、「基本政策の中に、それぞれに適した支援というよりも各機関と連携し、包括的な支援体制づくりを進めるとい趣旨の文言を入れるべきではないか」「基本方向の2つ目『安心して暮らすことができるまち』の中に、自助、互助、共助、公助とあるが、自助が始めにあることについてどのような見解なのか」「子どもの意見表明機会・参画の確保、意見の尊重など、子どもの最善の利益を追求するという、子どもの権利条約の最も重要な部分が欠けているのではないか」などがあり、総務常

任委員会に付託して審査した。

本会議では、「環境保全の取り上げ方が弱いのではないか。温暖化の問題は喫緊の課題であり、今までの取組の延長では間に合わない。子どもの未来を考える上でも全計画を網羅した野心的な構想を打ち出すべきだった」「自助、互助、共助、公助の言葉について、弱い立場の人から考えたときに、まず自助が先に来るとするのは非常に不自然に感じられるのではないか」などの反対討論、「アフターコロナ、ウィズコロナ、カーボンニュートラル、SDGs、DXなど、重要なテーマをしっかり捉えて議論を進め、人々の生活や心の豊かさを大切にしていくという将来都市像を評価する」などの賛成討論の後、賛成多数で可決した。

なお、本件の採決前に、修正動議が議員から提出されたが、賛成少数で否決された。

職員の配置状況等による人件費の減額、児童発達支援センターの受変電設備改修工事に係る経費など

— 令和4年度新座市一般会計補正予算(第9号)を可決 —

既定の歳入歳出予算に、6億3千486万5千円を追加し、総額を67億7千240万7千円とするものである。

歳出については、職員の配置状況等による人件費を減額するとともに、過年度国庫支出金返還金に係る経費のほか、児童発達支援センターにおける受変電設備改修工事に係る経費等を計上する。また、児童発達支援センターに

おける受変電設備改修工事ほか1件について、年度内の事業完了が困難であることから繰越明許費の措置をするものである。

歳入については、内示のあった新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を計上するもので、本補正予算の収支差金1億1千916万1千円については財政調整基金に積み立てを行い、積立後の財政調整基金の残高は56億797万3千円となる。

また、債務負担行為については、文書管理システム構築運用事業ほか3件について設定するものである。

質疑では、「予備費を5千万円増額し補正後の予算額は2億円になる。予備費が必要以上に増えることは好ましくないが、何のためこの時期に積み増すのか」「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の申請者とその実績はどのくらいになるのか」などがあり、4常任委員会に分割付託して審査した。

本会議では、「令和4年3月の当初予算では、予算組み替え動議を提案し、市民サービス、福祉制度を元に戻すように求めたがまだ戻っていない。財政調整基金に約1億2千万円を積み増すのではなく、市民要求の実現のために使うべきだ」などの反対討論、「財政調整基金に約1億2千万円を積み立て、基金残高は約56億円となった。引き続き、コロナ対策や燃料費・物価高騰に対応し、市民要望等を的確に捉えた市政運営をお願いする」「積み増した財政調整基金を利用して、保育園でのおむつ処理の対応や障がい者への助成、道路維持補修工事等の実施を期待する」などの賛成討論の後、賛成多数で可決した。

市長から報告を受けました

全員協議会から

◆12月16日

1 朝霞地区4市共用火葬場設置の検討について

朝霞地区4市では、公設の火葬場がないために近隣の施設を利用するため、使用料が高額であるとともに利用可能な時間帯についても制限を受けている。また、今後迎える更なる高齢化社会を見据える必要がある。

2 三軒屋公園等複合施設民間活力導入可能性調査及び基本計画策定業務委託の進捗状況について

三軒屋公園等複合施設について、基本計画策定に向けた施設整備条

市長から報告を受けました

委員会レポート

件の整理・調査を行い、立休都市公園の先行事例の調査を実施した。また、近隣の市民や東北コミュニティセンター利用者等へのアンケート調査では「緑が豊かなこと、水場等があること」、「バリアフリー等」、「安心・安全」、「図書館や児童利用機能の充実」等に関する意見が多数寄せられた。

こうした意見・要望を踏まえ、各所管課と調整して複合施設に導入する公共施設を検討し、今回策定する基本計画の中で、導入施設の候補や概ねの規模を示したいと考えている。

今後は、基本計画(案)をまとめた後に、1月中旬から意見募集を行い、年度内に基本計画として策定する予定である。また、令和5年度は、事業者の公募手続を行いたいと考えている。

重ね、各分科会からの調査結果報告を受け、特別委員会として、市に提案すべき事項等について協議を行いました。

令和4年11月17日には、調査報告書の内容を確認し、特別委員会としての調査を終了し、同日付で市長へ要望書を提出しました。

本特別委員会では、第5次新座市総合計画のうち、主に基本計画(施策)部分を調査対象とし、調査を円滑に進めるため、総務分科会・文教生活分科会・厚生分科会・建設分科会の4つの分科会を設置しました。



第5次新座市総合計画特別委員会から市長へ要望書を提出

市議会では、各常任委員会が所管事項の項目ごとに行政視察を行い、行政へ提言しています。今年度の行政視察状況は次のとおりです。

総務常任委員会

10月25日 福島県西会津町
〈調査事項〉西会津町デジタル戦略、自治体DXにおける官民共創と広域連携について

10月26日 福島県会津若松市
〈調査事項〉スマートシティ会津若松について

文教生活常任委員会

11月8日 愛知県名古屋市長古屋市
〈調査事項〉名古屋市長古屋市学校施設リフレッシュプランについて

11月9日 京都府長岡京市
〈調査事項〉CO₂ゼロで行うごみ収集事業について

厚生常任委員会

10月25日 大阪府泉大津市
〈調査事項〉泉大津市児童虐待防止ネットワークについて

10月26日 和歌山県御坊市
〈調査事項〉ごぼう総活躍のまちづくりプロジェクトについて

建設常任委員会

10月5日 大阪府堺市
〈調査事項〉パークPFIを活用した施設整備について

10月6日 大阪府吹田市
〈調査事項〉都市公園の整備について



新座市のこんなことを聞きました

市政に問う! 一般質問

ダイジェスト



中央公民館

親子で一日遊べる公園を造り子育て世代へアピールしては公園の整備を進めるとともに効果的な情報発信に努めたい



政和会 嶋野 加代

現在整備に向けた事務を進めている(仮称)大和田三丁目公園及び新座セントラルキッズパークは、親子で一日遊べる公園として整備したい。また、公園の情報を市ホームページや子育て情報誌に掲載するなど、子育て世代への効果的な発信に努めていきたい。

緊急小口資金と総合支援資金の現状と今後の市の対応は国の新たな融資制度の創設等の動向を注視していく



政和会 池田 貞雄

緊急小口資金は1千685件、3億1千765万円、総合支援資金は2千554件、13億7千43万円だった。今後も国の新たな融資制度の創設等の動向を注視していきたい。

新座市に勤務する教職員の駐車料金を無料にしては令和5年度から教職員等の駐車料金の無料化を決定した

現在、特に教職現場において人材不足が深刻化している。本市に勤務する教職員の通勤に使用する車への駐車料金を無料でできないか、市の見解を伺う。

教職員の駐車料金は平成17年度から徴収してきたが、県内で実施しているのは本市を含め4市のみである。教職員からの配慮してほしいという意見や長寿命化工事による徴収事務の煩雑化などの問題を総合的に勘案し、令和5年度から教職員等の学校敷地内駐車料金を無料の方針を決定した。



政和会 平野 茂

部活動の地域移行について現在の検討状況は外部団体と協議を重ね地域移行の進め方の具体化を図る

部活動の地域移行について、現在の検討状況を伺う。

部活動の地域移行は、令和8年度から実施できるように国の方針が示されたところである。教職員の働き方改革の気運も高まる中、大会への地域参加が認められるようになり、従来の学校単位での参加については見直しが進められている。また、スポーツに精通した者が指導に当たるほうが合理的だが、その費用負担も課題となっている。スポーツ協会等の外部団体と協議を重ね、地域移行の進め方の具体化を図っていきたい。



候補地として名前が挙がった総合運動公園

健康増進等を目的にクロスカントリーコースを新設しては適地が見当たらない状況だが調査・検討をしていきたい

市民の健康増進や本格的な競技者のため、クロスカントリーコースが新設できないか伺う。

広い面積を要するため、候補地として総合運動公園が考えられるが、米軍との協議が必要となる。ほかに適地が見当たらない状況だが調査・検討をしていく。



公明党 鈴木 秀一

単身高齢者のための賃貸住宅登録拡大に向けた取組状況は県住まい安心支援ネットワークに加入し周知を図っている

市内の独り住まい高齢者が入居できるように県の住宅確保要配慮者円滑入居賃貸住宅登録制度を活用した賃貸住宅の登録拡大について、市の取組状況を伺う。

県が住宅セーフティネット法に基づき住居支援団体として県住まい安心支援ネットワークを設立し、賃貸住宅関連事業者も加入していることから、登録戸数は増加傾向で、現在、市内でも8%の登録があり、ホームページ等で周知を図っている。



主要地方道練馬・所沢線(栗原1-6付近)

練馬所沢線の栗原交差点から栗原1-6付近の道路拡幅を令和5年度中に道路拡幅用地の取得を行う予定である

当該県道は狭く歩道もないため、県に対し道路拡幅や危険防止策を施すよう強く申し入れるべきではないか。市の見解を伺う。

県道を管理する朝霞県土整備事務所に確認したところ、令和5年度中に道路拡幅に伴う用地取得を行い、令和6年度以降に整備を行う予定とのこと、前進が図られたのでお待ちいただきたい。

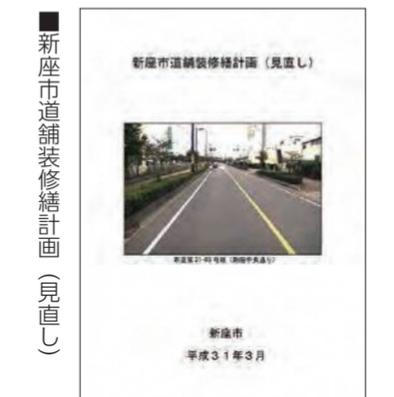


公明党 滝本 恭雪

都市高速鉄道12号線延伸促進活動の推進状況は県等と協力しながら一步一步着実に推進していきたい

東京都及び埼玉県の動向、延伸促進協議会、期成同盟会における計画熟度を高めるための調査研究について直近の状況を伺う。

3市1区で構成する都市高速鉄道12号線延伸促進協議会において、情報共有や意見交換会を実施し、期成同盟会では、活動の参考とするため練馬区を訪問した。県や都との連携を図ることが重要であり、県等と協力しながら一步一步着実に推進していきたい。



新座市道舗装修繕計画(見直し)

道路環境維持のための予算の増額を修繕計画や市民の要望を考慮した上で予算確保を検討する

道路の傷みや陥没など、市民からの相談が増えている。道路損傷の発見、早期補修のためのパトロール強化と予算の増額をすべきではないか、市の見解を伺う。

舗装が傷んでいる箇所が増加は把握しており、早期修繕の必要性も認識をしている。予算の増額は、舗装修繕計画や市民からの苦情、要望実績を考慮した上で確保できるよう検討したい。



政和会 鈴木 明子

ケアラー支援条例の制定を県や先進市の事例を調査・研究した上で検討していく

県では令和2年に全国に先駆けて条例を制定し、本年7月からさいたま市や入間市でも条例が施行された。家族などを介護・看病するケアラーへの理解を深めるために、ケアラー支援条例を制定してはどうか、市の見解を伺う。

条例の目的はケアラーが孤立しないよう社会全体で支えることだと認識している。まずは、県や先進市の事例を調査・研究した上で検討していきたい。



志木駅周辺の公園内トイレ(富士塚公園)

志木駅周辺の公園に設置されている公衆トイレは、男女の区別もなく和式で段差もある。高齢者や子どもが利用しやすいよう、公園内トイレの男女別の洋式化・バリアフリー化ができないか、市の考えを伺う。

現在策定中の緑の基本計画の中に公園のリニューアルを位置付けて、地域住民の意見等を踏まえながら改修の検討をしていく。

市政に問う! 一般質問

ダイジェスト



■適応指導教室 (ふれあいルーム)

ギフテッドの子どもと保護者に対する理解と支援の拡充を個別最適な学びの充実と教育相談を通じて支援を進めたい



野中 弥生

ギフテッドとは生まれつき突出した才能を授かった人のことで、一人一人の特性に合わせた対応が必要である。ギフテッドの子どもと保護者の困り感を解消するため、相談体制の拡充と教職員に対する研修をお願いしたい。

ICTを用いたプログラムを活用した個別最適な学びの充実を図るとともに、保護者のケアについては教育相談を通じて進め、学校でも啓発をしていきたい。

教室に行けない子どもたちのために居場所をつくっては適応指導教室の増設を検討する時期に来ている

教室に行きたくても行けない子どもたちのために、空き教室を活用して居場所を設置できないか、市の見解を伺う。

不登校が増加傾向にある中、保健室や相談室等を活用し、相談や学習支援を行っているが、また、校外に適応指導教室(ふれあいルーム)を設置しているが、ニーズが高く、増設を検討する時期に来ていると考えている。



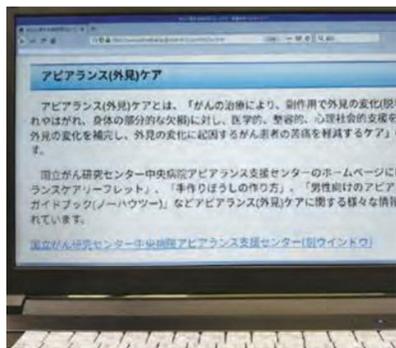
伊藤智砂子

子育て支援のさらなる充実を産産・子育て応援交付金に基づく支援内容を検討する

国は妊娠・出産時の給付による経済的負担の軽減、妊娠時からの伴走型相談を支援する産産・子育て応援交付金を創設した。市も継続的な子育て支援として実施すべきと考えるが、市の見解は。同交付金に基づく伴走型相談支援、経済的支援及び産産子育て応援ギフトは、国の要綱に基づき、効果的な内容になるよう実施に向けて検討する。

アピアランスケアの認知度向上と情報提供の充実をケアは重要と考えており情報を市ホームページに掲載した

がん患者が治療を続ける中で脱毛や爪等の外見(アピアランス)に変化を生じることがあり、社会生活が困難になることも少なくない。ケア方法を情報提供すべきと考えるが、市の見解を伺う。アピアランスケアの情報提供は重要であると考え、ケアの方法や医療者のアドバイスが掲載されたリンク先も含めて市ホームページに掲載した。今後は、広報にいざでも周知を図りたい。



■アピアランスケアの情報 (市ホームページ)



市民と語る会 富永 孝子

日常生活用具給付事業の対象者に対し周知方法の工夫を給付の適否を含めた説明が重要であり引き続き研究する

給付対象者が事業の存在を知らない事例が多数見受けられる。例えば、障がい者団体との意見交換会で周知してはどうか。日常生活用具は種目が多岐に渡り、給付対象者も細かく分かれ、給付の適否を含めた説明が重要であることから、周知方法は引き続き研究する。また、日常の障がい者団体とのつながりの中で、必要に応じて説明していきたい。

障がい者福祉課窓口における手話通訳者配置の充実を12月から金曜日にも手話通訳者を配置して利便性を高めた

聴覚に障がいのある方の中には、筆談が難しい方も多数いる。手話を主体とする通訳の更なる充実が求められるが、障がい者福祉課窓口の手話通訳者配置の改善について、市の意向を伺う。専任の手話通訳者を採用できないことから2名体制となり、12月から金曜日にも配置できる体制が整った。そのため、手話通訳を必要とする方の利便性は、これまでに以上に高まると考えている。



由臨会 島田久仁代

第5次新座市総合計画の進捗管理・行政評価の方法は市民らによる評価委員会を設置して管理・評価を行いたい

将来都市像を実現するために、策定した総合計画を効果的・効率的に推進し、客観的な評価の下に取組を改善していく必要がある。総合計画について、具体的にどのような体制・方法により進捗管理や行政評価をするのか。また、その経過を公表するべきではないか、市の考えを伺う。市民や有識者による政策評価委員会の設置を考えている。その中で計画の進捗管理・行政評価を行い、達成度の公表についても研究しながら進めていきたい。

無電柱化に向けた基本方針や推進計画を策定すべきでは都市計画マスタープランに含めて進めていきたい

無電柱化を進めるために、方向性を定める基本方針や取組内容を定める推進計画を策定すべきと考えるが、市の見解を伺う。防災や交通の安全、都市計画向上のために無電柱化推進の必要性は認識している。まちの魅力向上のため、都市計画マスタープランにも含めて進めていきたい。



■認知症サポーター事業所ステッカー (見本)



谷地田庸子

産後間もない産婦に対し産婦健康診査を行い支援の強化を令和5年度から開始できるよう準備を進めている

産婦健康診査の費用を助成することにより、妊娠前から子育て期にわたる切れ目のない支援体制をつくることは重要である。産婦健康診査事業の実施について、市の見解を伺う。産婦健康診査は、産後間もない時期の産婦に対し、精神的、身体的機能の回復を促すとともに、産後うつ予防や虐待防止を図るため重要であると認識している。令和5年度から同事業を開始できるように準備を進めている。

認知症の方が安心して外出できる環境づくりを認知症サポーター事業所ステッカー交付事業の拡大に努める

認知症の方が安心して外出できるような環境づくりとして、認知症の方が立ち寄りそうな商店、コンビニ、郵便局等も含め、認知症サポート事業所ステッカー交付事業を拡大できないか伺う。認知症サポーター養成講座の受講を企業にも積極的に働きかけ、認知症の方々が安心して外出できるような体制を整えていく。



政和会 小野澤健至

雑木林をイメージする市としてナラ枯れ対策に注力をして被害拡大を防ぐため被害木の伐採作業を行っている

カシノナガキイムシが媒介するナラ菌の感染によりナラ枯れが拡大している。雑木林をイメージする市としてはナラ枯れ対策に注力すべきではないか。ナラ枯れの被害を拡大しないよう燻蒸処理や順次被害木の伐採作業を実施している。また、民有地でナラ枯れが確認された際は、林野庁や県の被害対策を案内している。

自転車の交通ルールやマナーの講習を実施しては交通安全のためにも市として交通ルールや自転車のマナー向上は重要であると考える

交通安全のためにも市として自転車の交通ルールやマナーの講習を実施してはどうか。向上は重要であり、道路交通法の改正に伴い、新たな自転車安全利用五則が定められた点を強調しながら、しっかりと交通ルール、マナーを周知していく。また、小中学校では、県の子ども自転車運転免許制度推進事業を活用した安全講習等を行っている。



市政に問う! 一般質問

ダイジェスト



日本共産党 嶋田 好枝

教員の多忙化解消のため国や県に教員の増員の働きかけを教員のなり手が不足しており働き方改革に力を入れたい

Q 教員の多忙化が一向に改善されていらない。解消のためには教員数を増やすことが喫緊の課題であり、国や県に教員を増やすよう働きかけを要望する。

A 学校行事見直し、オンライン会議実施、事務効率化等、積極的に負担軽減策を取り入れた結果、在校時間減少につながっている。35人学級の実施で定数増の見込みだが教員のなり手が不足しており、働き方改革に力を入れたい。

中野地域の交通不便解消の対策は 中野地域に合った方策が実施できるよう検討していく

Q 令和5年度からのいばしバス運行予定に中野地域は入っていない。デマンドタクシーの導入等、具体的な方策を考えるべきである。

A 中野地域における交通不便解消の対策の必要性は認識している。地域公共交通システム計画の中で、中野地域は別途対応を講じるべき場所として位置づけており、生活圏について踏み込んだ調査を行い、引き続き検討していく。



日本共産党 小野 大輔

いばしバス志木コースの新たな時刻表案を撤回すべきでは運行後にしっかりと要望書を受け付けて対応を検討したい

Q 地域公共交通計画では運行本数の充実に目指すとされているが、令和5年4月からの時刻表案では利用者の多い志木コースは減便されている。この案は撤回し利便性を向上させる時刻表にすべきと考えるが、市の見解を伺う。

A いばしバス全体の改善を目的として走行時間や運転手の労働条件改善等を総合的に勘案し設定した。運行後に、しっかりと要望書を受け付けて対応を検討したい。

志木街道・防衛道路の歩道の改善を県に求めるべきでは 県に修繕の検討が必要な箇所を修理を要請した

Q 志木街道と防衛道路は交通量が多いにもかかわらず歩道が狭く側溝は老朽化し大変危険だ。側溝の修繕や歩道の拡幅についても改善を図るよう県に働きかけをすべきと考えるが、市の見解を伺う。

A 県に確認したところ、両路線とも拡幅計画はないとのことであった。修繕の検討が必要な場所が合計18か所あり、朝霞県土整備事務所へ報告し修理を要請した。



安全対策が望まれる志木街道(東北コミュニティセンター前)



日本共産党 笠原 進

非常に要望の高い学校給食無償化の実現を 無償化は難しいが他市の状況を見ながら判断していきたい

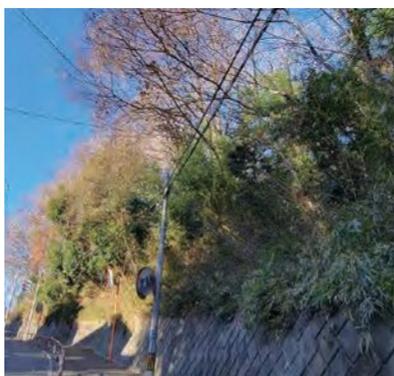
Q 小・中学校の給食無償化を実施する自治体がこの5年間で3倍に増えた。学校給食法に基づき食料費は保護者負担とのことだが、文部事務次官通達には自治体が食料費を負担することは禁じない旨明記されている。学校給食無償化を是非お願いしたい。

A 給食の無償化が違法ではないことは認識しているが、安心安全な給食を提供するための施設設備に相当の予算を投入しており、全ての子どもたちの給食無償化は難しい。他市の状況を見ながら判断していきたい。

通学路となつている歩道に出ている樹木の安全対策を 危険性・緊急性の高い樹木を優先し剪定を計画的に進める

Q 馬喰橋通りの堀ノ内病院と嵯峨山通り間の歩道は小学校の通学路だが、樹木が歩道に出て危険である。安全対策について伺う。

A 危険性、緊急性の高い樹木を優先しつつ、歩道、通学路の安全対策として樹木の剪定、伐採を計画的に進めていく。



馬喰橋通り脇の樹木



由臨会 米橋 結太

野火止水護岸復元の状況と史跡としての今後の方向性は 県指定史跡として保存に努めていきたい

Q 現在野火止水護岸計画を策定中だが、同用水護岸の復元状況と今後の方向性を伺う。また、溶解ソイルセメントを水路・護岸の一部に敷設した経緯も伺う。

A 経年変化により素掘りの面が崩れてしまいが、史跡として原型保全に努めながら補修をしている。また、草の繁茂や害虫の発生を抑制するため、生活環境への影響が大きい場所に溶解ソイルセメントを使用した。基本的には草刈りによる管理をしたい。

放課後児童保育室狭小化の現状と課題及び今後の対応は 利用人数の推移に注視して狭小化の解消に取り組む

Q 野寺・八石・片山小学校に整備した各児童保育室の狭小化の現状と課題、今後の対応を伺う。

A 新たな放課後児童保育室の整備や余裕教室の活用など、利用人数の推移を注視しながら、引き続き狭小化の解消に取り組む。また、入所数の増加が予測される野寺放課後児童保育室は、新設を検討している。



公明党 佐藤 重忠

認知症への理解と普及啓発のために認知症条例の制定を まずは市民への認知症の啓発と状況周知が重要だと考える

Q 誰もが希望を持って自分らしく暮らし続けることのできるまちの実現を目的として、認知症条例を制定してはどうか。

A 条例の制定は、認知症の人及び家族が安心して暮らすことのできるまちづくりに重要であると考えているが、国・県の状況を鑑みて対応したい。今後も認知症への関心と理解を深めることにより、市民の気運醸成を図っていきたい。

当該交差点西側の車道が大変狭いが、第六中学校生の自転車通学路であり、近隣商業施設への来訪者で交通量も急増しているため、道路拡幅をしてはどうか。

Q 西堀二丁目の市道第6067号線交差点付近の道路拡幅を道路に接する建築物建て替え等の機会に後退の指導を行う

A 当該道路は、道路改良10か年基本計画パートⅢの生活道路拡幅整備編で、道路北側に対して中心後退2.4mの位置付がされており、建築物の建て替えや開発行為の機会を捉えて、道路拡幅の行政指導を行っていきたい。



市道第6067号線の交差点(西堀銀座商店街)付近



由臨会 鈴木 芳宗

次期都市計画マスタープランと県の方針との関係性は 地権者の意向を確認しながら方針との連携を図っていく

Q 県では、「埼玉の持続的成長を支える産業基盤づくり取組方針」が運用されている。本市の次期都市計画マスタープランとどう連携を図り、取り組んでいくのか、その関係性について伺う。

A 県の方針は埼玉版スーパーステイプロジェクトの基本的な考え方を踏まえ、企業と連携し地域の持続的発展を見据えた産業基盤の創出を目指すものである。次期マスタープランで産業系の土地利用を検討していく道場二丁目周辺については、関係地権者の意向を確認しながら、県の方針に基づく連携を図っていく。

往来が盛んな前原橋交差点の安全対策を 事業者・関係団体と協議して対策を検討していく

Q 関越自動車道の側道と3つの市道で構成される前原橋の交差点は、往来も盛んで交通事故も発生している。安全対策を行うべきと考えるが、市の見解を伺う。

A 事業者・関係団体と協議の上、対策を検討していきたい。



前原橋付近の交差点

市政に問う! 一般質問

ダイジェスト



市場坂通りに生い茂る目地草

Q 水道道路や畑中公民館通り、市場坂通りでは、縁石との隙間から雑草が生い茂り、景観が悪く、通行しづらく危険である。除草すべきではないか。

A 指摘の3路線は目地草が生い茂り歩道内の交互通行に支障を来しているため、安全性を重視し専門業者に除草を発注した。

Q 市道の縁石周辺に生い茂る雑草を除去すべきでは、歩道内の通行に支障を来しているため除草を発注した。

A 国の臨時交付金を活用した支援策第10弾の際に検討をしたが、今回は見送ることとした。狭山市等での事例もあるので、国の臨時交付金の追加措置の状況を見ながら、検討はしていきたい。

Q 物価や燃料費の高騰が市民の生活に大きな影響を与えている。本市では地方創生臨時交付金を活用して様々な新型コロナウイルス感染症対策を行ってきたが、狭山市等のように、住民税が均等割のみの課税世帯にも臨時給付金を支給すべきではないか。

A 国の臨時交付金を活用した支援策第10弾の際に検討をしたが、今回は見送ることとした。狭山市等での事例もあるので、国の臨時交付金の追加措置の状況を見ながら、検討はしていきたい。

Q 全国的先進であった高校生の通院医療費を無料に戻すべきでは、引き続き高校生の通院分は助成しない。

A 全国の先進であった高校生の通院医療費無料制度を止め、全国的には無料とする自治体は約46%に増加した。無料に戻して欲しいとの声も多数寄せられている。元に戻すべきではないか。

A 財政非常事態宣言の発出により令和3年度から高校生通院分を対象としたが、入院は無料としていた。高校生の医療費だけでなく、あらゆる支援をしていくことが重要であり、施策は総合的に考える必要がある。

Q 高齢者・障がい者世帯のゴミのふれあい収集の準備状況は令和5年度の早期実施に向けて準備を進めている。

A 高齢者・障がい者世帯を対象としたゴミのふれあい収集の準備状況を伺う。世帯状況によりゴミ出しが困難な場合もあると思うが、どのように検討しているか。

A 令和5年度中の早期実施に向けて関係者と協議している。また、ゴミ出しが困難な世帯には、状況を伺い個別に判断したい。

Q 配偶者暴力相談支援センターの設置に向けた検討状況は令和6年度に開設する方向で検討している。

A 配偶者暴力相談支援センターについては「課題の整理をしていざ設置したい」と答弁していたが、県の男女共同参画基本計画でも女性に対する暴力の増加や深刻化が懸念されており、早急に設置すべきである。課題の整理や設置場所等の検討状況を伺う。

A 同センターの設置に当たっては、人員確保、庁内連携や安全性を確保できる設置場所等の検討課題はあるが、令和6年度に開設する方向で検討している。

Q ボール遊びがしやすいように広場を整地し市民へ周知を。ボール遊びができる旨の看板の設置等により周知をしたい。

A 総合運動公園内の本多の森お花畑の一部を整地された多目的広場について、ボール遊びがしやすいように整地し、利用の周知を図ってほしい。

A 多目的広場はボール遊びができる公園として令和3年に整備したが、看板がないので設置したい。また、ホームページや公園内の看板で周知をしたい。

日本共産党
小野由美子

日本共産党
石島 陽子

日本共産党
黒田 実樹

市民と語る会
高邑 朋矢

由臨会
上田美小枝

由臨会
荒井 規行



総合運動公園内に整備された多目的広場



Q 学校でのマスク着用を強制しない雰囲気づくりを。時と場合に応じた着脱ができるよう指導し判断力を育てる。

A コロナ禍で当たり前になった学校でのマスク着用を強制せず最低限にするために、子どもたちが自分で必要性を判断し、自由に着脱できるように雰囲気づくりができないか、市の考えを伺う。

A これまではマスクの着用を進めてきたが、今後どの場面でマスクを外すかという指導に変わっていくと考えている。科学的な根拠に基づき、時と場合に応じた着脱を指導して、子どもたちの主体的な判断力も育てていきたい。

Q 不登校児童・生徒に対しオンライン授業による学習支援を学べる環境づくりを進めたい。

A 不登校児童・生徒へのオンライン授業は、社会的自立に向けて進路の選択肢が広がり、支援につながる。タブレットを活用し、オンライン授業ができないか伺う。

A 双方向によるオンライン授業の参加は可能だが、不登校の子どもたちの参加は少ない状況である。折角オンラインの環境があるので、学びたいという意思があればいつでもどこでも学べるような環境づくりを進めていきたい。

Q 中学校の校則は、時代に合わせた改善を。現在の実情に合った校則への見直しを行っている。

A 中学校の校則は、時代に合わせた改善を。現在の実情に合った校則への見直しを行っている。

Q 国からの規制がないときは状況に応じて皆で楽しく食べられるようにすべきと考えるが、黙食の状況と見解を伺う。

A 換気を確実にした上で児童・生徒の会話は可能となったことから、12月の教頭会議で徹底を図るよう指示をしたので、学校でも取組を進めていると考えている。

Q 中学校の校則は、時代に合わせた改善を。現在の実情に合った校則への見直しを行っている。

A 観念から校長が定めているが、社会通念上合理的とは言えない項目は、教育委員会が改正を指示している。また、生徒が見直しに参加する機会を設けて自主的な見直しを進めるルールメイキングプロジェクトも実施している。教職員には、年度当初の研修も含め意識啓発を促したい。

Q 中学校の校則は、時代に合わせた改善を。現在の実情に合った校則への見直しを行っている。

A 観念から校長が定めているが、社会通念上合理的とは言えない項目は、教育委員会が改正を指示している。また、生徒が見直しに参加する機会を設けて自主的な見直しを進めるルールメイキングプロジェクトも実施している。教職員には、年度当初の研修も含め意識啓発を促したい。

不登校の対応に苦勞している教師にきめ細かな指導を。研修に力を入れていくが学校の魅力づくりも大事と考える。

A 要因や背景が多様化、複雑化している不登校児童・生徒への対応に苦勞している教師に対し、きめ細かな指導が必要ではないか。

A 先生への研修が何よりも大事と考え、様々な取組を行っているが、登校回避感情を持つ子どもが増えている。不登校の増加傾向が止まらない。学校側も子どもたちが登校したくなる魅力づくりを心掛ける必要があると考えている。

由臨会
上田美小枝

由臨会
荒井 規行



